

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム
実施状況および成果

プログラム名	「ドイツ環境ゼミ」：環境マインドをもったグローバル人材育成のためのドイツ視察研修プログラム	
学部・研究科名	全学教育機構	
実施期間	2017年2月11日～3月6日	
研修先(国・都市・施設名)	ドイツ(レーゲンスブルク、ハノーファー他都市)	
参加者数：9名		知の森基金からの支援者：9名
プログラム概要	2月11日：羽田～ミュンヘン 12日：ミュンヘン市内視察、ミュンヘン～レーゲンスブルク 13-24日：Sprachschule HORIZONTEにて語学研修 25-28日：個人視察旅行(28日にハノーファーにて再集合) 3月1-3日：ハノーファー市内および近郊にて団体視察 4日：移動、ハノーファー～フランクフルト 5-6日：フランクフルト～羽田	

実施状況・成果

- 語学研修(2週間の語学コース)
レーゲンスブルクにあるホリゾンテ語学学校にて、2週間のスタンダード・コースに参加。各自の語学能力に従ったクラスに分かれ、実践的な語学力の向上につとめる。期間中は、ホームステイか学校の寮に滞在した。
空き時間や週末は、各自のテーマに従って、レーゲンスブルク市内・近郊や、他の都市に足を延ばし、部分的には教員が引率して環境関連施設や博物館などを視察・見学した。
- 個人研修
各自のテーマに従って出発前に(指導を受けつつ)作成した計画に従い、ドイツ国内を回って視察を行った。
- 団体研修(ハノーファー市内)
本学の卒業生でもあり、ドイツ在住で主に環境をテーマとしたジャーナリストとして活動している田口理穂氏と、ハノーファー・ライプニッツ大学のフランツ・レンツ教授のサポートによって、ハノーファー市内の各所を視察した。訪問したのは、次の各所：
3/1：ハノーファー市内の文化・歴史視察、老舗オーガニックショップ、ライプニッツ・ハノーファー大学(レンツ教授の講義を含む)、学生との交流会
3/2：AHA ハノーファー清掃公社、ハノーファー市気候保護局
3/3：エネルギー自給村Flecken Steyerberg

なお参加学生は、6月末にドイツ語技能検定試験を受験、7月に学内で開催される公開報告会にて視察結果を報告し、その後最終レポートを提出し、成績の評価を受ける。

学生の声①ー工学部 学生

このゼミに参加して良かったと思う点は大きく3つあります。
一つ目は環境についての理解が深まったという点です。ドイツで個人視察、団体視察を通じ、環境への負担を少なくする設備、システムや活動に触れることができたからです。ドイツに行くまでは環境学習をしても情報としてしか学べなかったもので、実際のもの、活動に触れられたことで学習が深まったと思います。二つ目は言語学習への意欲が高まったことです。現地で実際にドイツ語を習い、使うという体験をしたことで、もっと使えるようになりたいと思いました。三つ目は海外へ行くことに対して少し自信がついたことです。ドイツで4日間の単独行動をして、準備をしっかりとっておけば海外でも活動ができると分かったからです。これまでよりも世界を身近に感じられるようになったと思います。これらの点で、ドイツ環境ゼミに参加して以前よりも自分が大きく成長できたと思います。

学生の声②ー理学部 学生

このゼミでは約3週間ドイツで生活することで、大学生活だけでは知ることができないような、異文化を体験し、さらに自身で決めた環境テーマを取り組み多くの成果を得ることができました。このゼミを通し最も印象に残っていることは、エネルギー自給村への訪問視察です。現地の方のお話を直接伺うことで、ドイツの方の環境に対する取り組みへの熱意や再生可能エネルギーと地域活性化が関係していること等、その場に行かなければ分からなかった多くのことを学ぶことができました。異文化を知ることができただけでなく、私自身、環境への取り組みに興味を持っていたため、自分自身の視野を広げる上でもこのゼミに参加でき本当に良かったです。

学生の声③ー教育学部 学生

語学研修では、教科書だけでは学べない“生の”ドイツ語を体験した。言葉や表現のニュアンスの違いも、ドイツの方の感覚を直接教えてもらうことで、今までよりさらに理解を深めることが出来た。私は単語学習に苦手を感じていたが、360°ドイツ語に囲まれた生活だったためか、研修中は自分でも信じられないほどたくさんの言葉を覚えることが出来た。
ホームステイでは、ドイツの家庭の中に温かく迎えていただき、ドイツ人の生活スタイルを実際に体験することが出来た。何もかもが私にとっては新鮮で、自分の世界を広げることが出来たのではないと思う。
環境研修では、なかなか見ることの出来ない環境施設の内部やエネルギー自給村を見学し、施設の方から直接お話を伺った。自分で見て、聴くことにより、資料だけではわからない部分も感じられ、とても貴重な体験となった。
短い期間ではあるが、日本とは異なる文化の中で生活したことにより、様々な価値観や考え方に触れることが出来た。この研修がきっかけで、私は自分の世界が広がり、物事の捉え方も柔らかくなったと感じる。

エネルギー自給村Flecken Steyerberg村の役場前



エネルギー自給村Flecken Steyerberg村での視察

